

# 平成23年度 予算編成方針



平成22年10月18日

果敢に挑戦！ 産業振興計画



# I 平成23年度予算編成のポイント

# 1

「5つの基本政策推進加速化枠」 **50億円** を設定

**「産業振興計画」の加速化による「経済の活性化」など、「5つの基本政策」に基づき具体的な成果につなげる事業を着実に実行**

- 「龍馬ふるさと博」の展開をはじめとする産業振興計画の推進、「日本一の健康長寿県づくり」、教育の充実、南海地震対策などの取り組みをさらに加速化。
- 22年度からの継続事業もPDCAサイクルを徹底した見直しを実施。
- 取り組みを継続・充実させるために必要な予算を確保（平成22年度予算より14億円増）。

# 2

## 県経済や雇用への配慮と財政の健全化の両立を推進

- ① 依然として厳しい県経済や雇用への配慮（経済対策を継続して実施）
  - 投資的経費ゼロシーリング（平22同様）
  - 県民の暮らしと雇用を支えるため、普通建設事業費の一般財源総額（地方債含む）を確保し、立ち遅れたインフラ整備を推進する。国の経済対策により積み立てた基金も最大限に活用。
- ② 財政の健全化の推進
  - 経常的経費△3.0%シーリング（平22同様）、費用対効果等の観点から既存施策の根底からの見直しを実施。

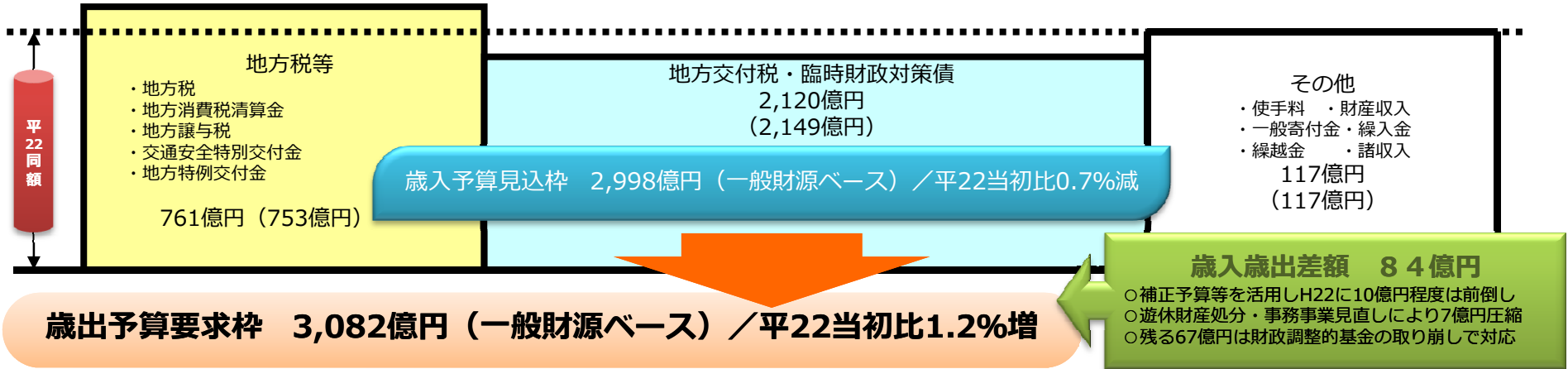
# 3

## 国の動向の把握と県予算への反映

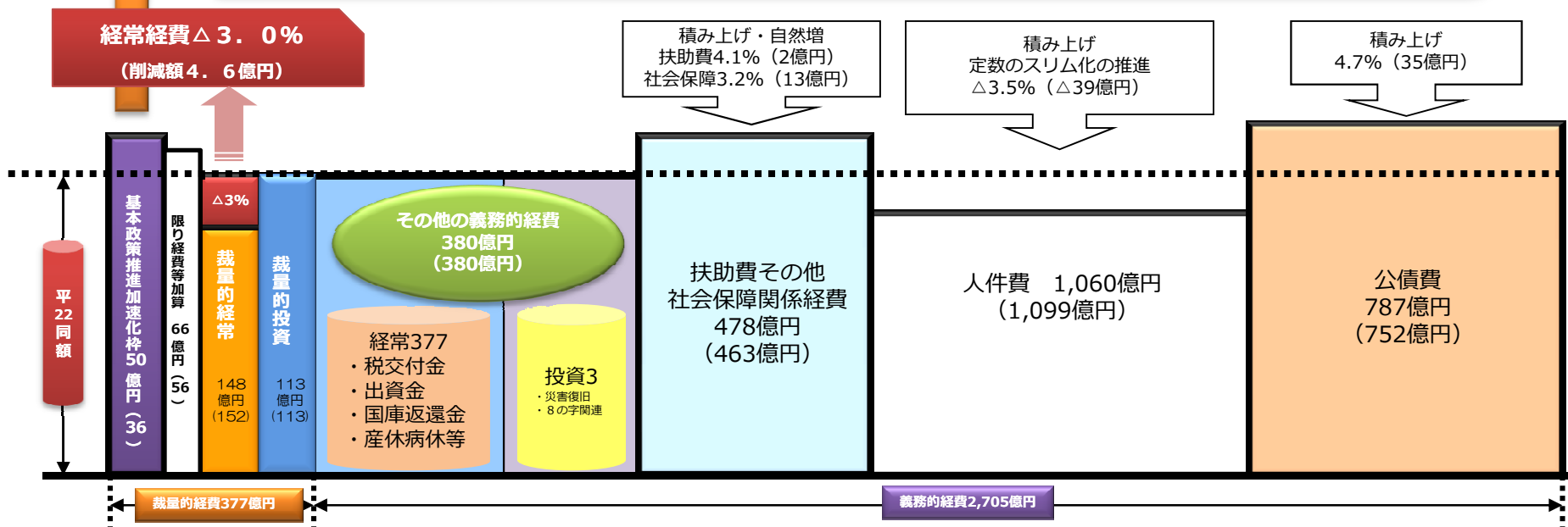
- 国の動向に留意し、積極的に情報収集を行い、本県への影響を見極めた上で確実に予算に反映。

# Ⅱ 予算要求フレームの考え方

(注)  
 ・「今後の財政収支の試算について (H22.9.17)」に基づき算出。ただし、退職手当については発行可能額を全額充当。  
 ・金額は全て一般財源ベース。  
 ・( ) は平成22年度当初予算。



## 「5つの基本政策推進加速化枠」50億円<sub>+a</sub> (予算の質的転換による加算)



## Ⅲ 予算編成の主なスケジュール（予定）

2010 <b>10月</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <b>18日 予算編成方針通知</b></li></ul> <p>（国が平成22年度の補正予算を編成する場合には、概要が明らかになった時点で別途通知）</p>
<b>11月</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 17日 予算見積書提出期限</li><li>○ 19日 予算見積概要公表資料財政課提出期限</li><li>○ 下旬 各部局から予算見積概要の知事レク</li></ul>
<b>12月</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <b>上旬 当初予算見積概要の公表</b></li><li>○ 下旬 知事事前レク</li></ul>
2011 <b>1月</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 中旬 財政課長内示、総務部長協議、総務部長内示</li><li>○ 下旬 知事査定</li></ul>
<b>2月</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 中旬 当初予算案記者発表</li></ul>